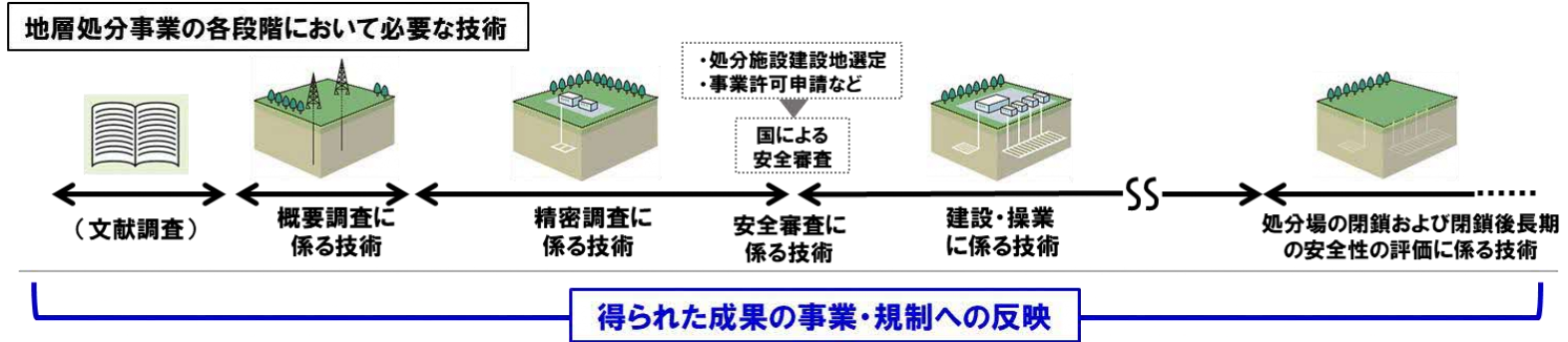


有識者6

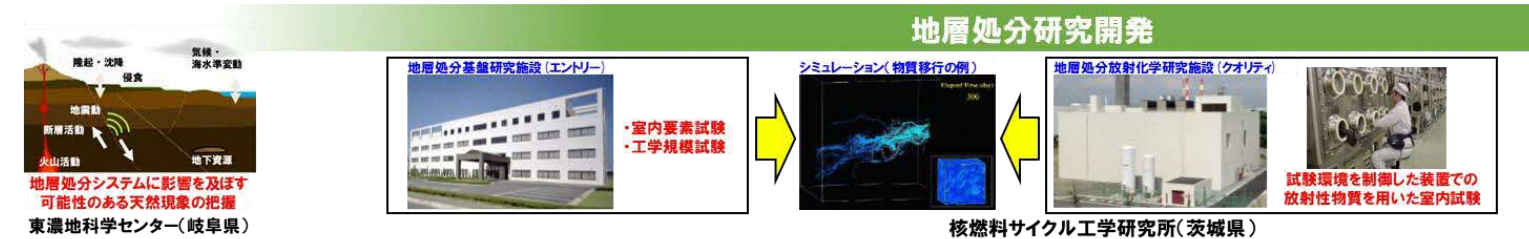
幌延深地層研究センターの役割や各研究の目的、最終的に目指す成果といった全体像が先に示されていると分かりやすいと思う。

研究開発の全体像(1/3)

各拠点の役割、目的、得られる成果



地質環境の長期安定性に関する研究



有識者6

幌延深地層研究センターの役割や各研究の目的、最終的に目指す成果といった全体像が先に示されていると分かりやすいと思う。

研究開発の全体像(2/3)

幌延深地層研究センターの役割、目的、得られる成果

深地層研究所(仮称)計画(平成10年10月)より抜粋

○役割

地層処分の技術的な信頼性や技術の拠り所を実際の深地層での試験研究を通じて確認していく。

研究者に限らず、一般の人々が実際に深地層の環境を体験し、また、研究者との直接的な対話を通じて深地層への理解を深めて頂く場として整備する。

○目的

地質環境条件の測定や、坑道掘削に伴うそれらの変化の把握、処分予定地選定から安全審査に至るまでの処分事業の進展に対して、時宜を得た役割を果たしていけるように進めていく。

(詳細は次スライド)

○得られる成果

実施主体が行う処分地選定のための予備的調査やサイト特性調査、処分技術の実証、及びこれと並行して国が進める安全基準や指針の策定に反映する。

(詳細は次スライド)

有識者6

幌延深地層研究センターの役割や各研究の目的、最終的に目指す成果といった全体像が先に示されていると分かりやすいと思う。

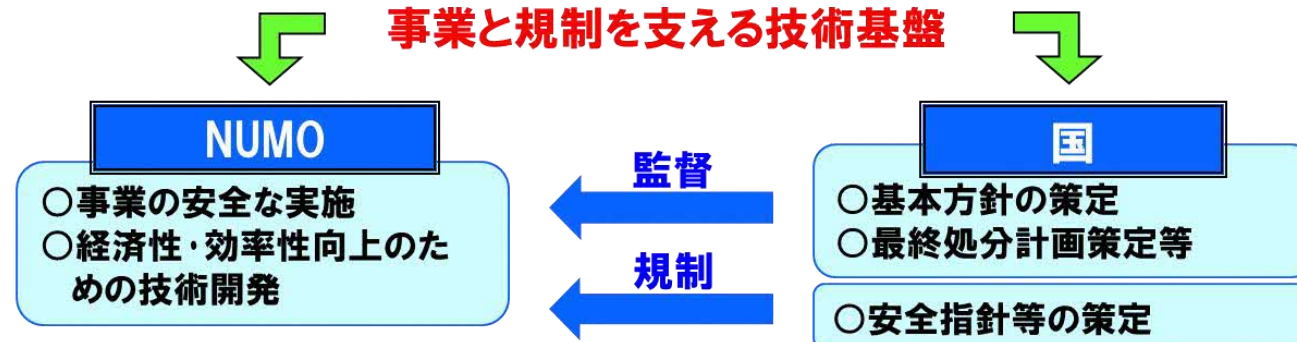
研究開発の全体像(3/3)

幌延深地層研究センターの研究の目的、得られる成果

幌延深地層研究センターの主な研究目的および得られる成果

- 概要調査や精密調査に必要な基盤技術の整備
 - ・ 地表からの調査による深部地質環境を把握するための調査解析評価技術の構築
 - ・ 地表からの調査に適用した調査・モデル化手法の有効性を確認
 - ・ 坑道掘削による深部地質環境の変化の程度や現象の理解及び必要な調査技術の整備
- 処分場の設計や安全評価に必要な基盤技術の整備
 - ・ 坑道の掘削工事・維持管理を通じて、掘削技術・施工対策技術、安全確保・維持管理技術の適用事例の提示及び有効性の確認
 - ・ 地下坑道を実験の場として活用した人工バリア試験等による、処分場の設計や安全評価に必要なとなる技術を実証及び現象理解の精緻化

事業と規制を支える技術基盤



(500mにおける研究)

更問1：設計結果を踏まえて実施を判断していくというのは、深度500mでの研究の実施を判断していくということと受け止めて
いいか。

**研究に対する評価や
その他研究の推進に関することの報告**

【稚内層深部における研究に関する検討の経緯】

1月末 令和2年度以降の幌延深地層研究計画の確定

2月～8月 機構内における研究内容の検討

- **試験内容の詳細**
- **試験場所の適性**
- **概略工程**

6月 第26回深地層の研究施設計画検討委員会

(500mにおける研究)

更問6:新たに掘削を行うことの必要性の整理や研究期間への影響などについての説明をいただきたい。

研究に対する評価や その他研究の推進に関することの報告

【稚内層深部において研究を実施するかどうかの判断について】

前提

- ・稚内層深部において行う研究は、「令和2年度以降の幌延深地層研究計画」の必須の研究課題の範囲内です。

原子力機構の判断ポイント

- ✓ 稚内層深部における研究を実施したとしても、令和2年度以降の研究期間を前提とした研究工程であること。
- ✓ 稚内層深部での研究を通じて成果を得ることにより、稚内層浅部(深度350m)での研究を通じて得られた成果と合わせて、技術基盤の整備により一層寄与できること。